

たばたあずみ



Tell・Fax 550 6674

山根とみえ



Tell・Fax 550 4224

戸沢ひろゆき



Tell・Fax 558 9721

3月市議会

たばたあずみ議員の一般質問

たばたあずみ議員は3月議会の一般質問で(1)五日市センターの入浴設備について (2)武蔵引田駅周辺区画整理について (3)給食の放射性物質測定について 質問しました。以下、内容をお知らせします。

使わなくちゃもったいない!

市内に3箇所ある高齢者在宅サービスセンターのうち、五日市センターには、車椅子や寝たきりの方が利用可能な入浴設備がありますが、施設の使用目的が介護保険外の利用に変わったため、まったく利用されていません。立派な設備なのにもったいない! ぜひ活用をというたば



せつかくの設備が物置状態の現状

た議員の質問に、市は、入浴サービスは足りており、施設の目的も異なるので入浴サービスに使う考えはないが、入浴介助の実習に活用する計画があると答弁。

たばた議員は、介護士を増やすことに活用するなら歓迎だとした上で、機会があれば入浴サービスに活用できるよう、柔軟な対応を求めました。

きめ細かな放射性物質測定を!

現在あきる野市では学校・幼稚園・保育園の給食について、月2回程度、放射性物質測定が行なわれています。より頻繁な測定のために一食まるごと測定を提案しました。市は、一食まるごとにする頻度は高まるが、仮に基準値を超えたとき、該当食材の特定が困難になるため、現行を維持すると答えました。

これまでの検査で、シイタケとレンコンから11~48ベクレルと基準値以下ではありますが、放射性物質が検出されています。たばた議員は、低レベルの放射能の影響は不明、基準値以下でも検出された食材は避けるよう求めました。市は、100ベクレル以下は問題ないと答弁しましたが、あらかじめ検出が予想される食材は使用を避ける姿勢を見せました。たばた議員は、測定器を増やし、頻度を高めるよう求めました。



13年も足踏み・・・武蔵引田駅周辺区画整理

なぜ進まないの? 武蔵引田駅周辺区画整理は、計画状態のまま13年が経過。経済状況や世帯の状況は変化しているのに、一向に進んでいません。計画実施がいつになるのかとの質問に、市は、一日も早く実施したいとしか答えられませんでした。たばた議員は、何がネックになっているのかと質問。市は、農地の使用目的を変えることや、市街化調整区域を市街化区域にすること、特に商店街などのまちづくりの点で難航しているとしつつ、関係部署との調整に行政力を発揮したいと答えました。

たばた議員は、13年の間に年をとり、建て替えの気力がなくなったという方や、子ども世帯への譲渡や同居を考えていたが、待ちきれずに子どもたちはよそに家を建ててしまった、このままでは買い手もつかないという方などの声を紹介し、これ以上待てない、ラストスパートをかけるようにと強く求めました。

下水道だけでも早く! この地域は、土壌の関係から吸い込み槽が詰まりやすく、何度も掘りなおして、もう掘る場所がないという世帯が増えています。区画整理が進まないなら、下水道だけでも先に設置できないかという質問には、これまでどおり二重投資になるので先行実施はしない、状況は憂慮しており、吸い込み槽に補助を出しているとの答弁。しかし、いくら補助があっても掘る場所がなくては意味がないのです。

たばた議員は、計画で道路になるところはほぼ決まっているのだから、そこに下水道を敷設してはと提案。市は、市が道路にと考えているところは現在住宅が建っており、技術的に困難であるとし、一日も早く区画整理を実施したいのもう少し待ってほしいと答えました。

たばた議員は、住民の思いに寄り添ったすみやかな計画実施と、必要に応じた見直しを求めました。



引田駅周辺区画整理予定地の一部



法律相談

4月25日(木) 13時30分~15時 予約が必要です。市議団までご連絡ください。